

[前画面へ戻る](#)

④ 科目名	近現代文学講読B
④ 科目名(英訳)	Readings in Modern and Current Japanese Literature B
④ 科目ナンバー	HJ231A02
④ 詳細情報	授業外学修時間:週4時間
④ 担当者 (非)は非常勤講師	愛知 峰子
④ 単位数	2
④ 開講学年	2年
④ 開講セメスター	秋期毎週
④ 対象学科 選択・必修	必修: 選択:HJ
④ 他学科受講	
④ 履修順序・履修情報	
④ 担当者及び時間割	
④ カリキュラムの中での位置付け /DP(ディプロマ・ポリシー)	日本語日本文化学科の専門教育科目であり、文学分野の基礎科目として位置付けられる。 【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ①:◎ ②:○
④ 身につく基礎力 / 身につく汎用力	傾聴・受信力 クリティカル思考力 / 専門的知識・技能 思考力 学び続ける能力

④ 授業の主旨 (概要)	この授業は、日本語日本文化学科2年生の(b)クラス対象である。 樋口一葉の文学を取り上げる。小説、日記などを読み進め、文体、文脈、テーマなどについて理解を深める。単に知識を得るだけでなく、蓄積した知識をもとにじっくりと自らの考えを発展させる。	
④ 具体的 達成目標	1. 日本の近現代文学作品を読解できる。 2. 文体、文脈、テーマなどについて考察できる。 3. 作家について深い知識を持つことができる。	
	1	<p>【内容】【第1週】授業の概要について 一葉文学の背景:明治という時代について</p> <p>【授業外学習】事前:テキスト『たけくらべ』の俵万智「鑑賞」を読んでおく。 事後:一葉の年譜を作成する。</p>
	2	<p>【内容】【第2週】樋口一葉の生涯 一葉の年譜を完成させる。</p> <p>【授業外学習】事前:テキスト『たけくらべ』の写真のページを見ておく。 事後:テキスト『たけくらべ』の山田有策「一葉という作家」を読む。</p>
	3	<p>【内容】【第3週】作家樋口一葉について</p> <p>【授業外学習】事前:テキスト『たけくらべ』の山田有策「一葉文学の輝き」を読んでおく。 事後:テキスト『たけくらべ』の239-250ページを読む。</p>
	4	<p>【内容】【第4週】『十三夜』(上)を読む。*以下、時間配分など変更することがある。</p> <p>【授業外学習】事前:テキスト『たけくらべ』の「十三夜」の梗概を読んでおく。 事後:「十三夜」の(上)冒頭175-178ページの解釈をまとめる。</p>
	5	<p>【内容】【第5週】『十三夜』(上)を読む。 理解のための手引き1</p>

授業計画	【授業外学習】	事前:「十三夜」の175-183ページを読んでおく。 事後:「十三夜」の175-183ページの解釈をまとめる。											
	【内容】	【第6週】『十三夜』(上)を読む。											
	【授業外学習】	事前:「十三夜」の183-187ページを読んでおく。 事後:「十三夜」の183-187ページの解釈をまとめる。											
	【内容】	【第7週】『十三夜』(上)を読む。 理解のための手引き2											
	【授業外学習】	事前:「十三夜」の188-194ページを読んでおく。 事後:「十三夜」の188-194ページの解釈をまとめる。											
	【内容】	【第8週】『十三夜』(上)を読む。 理解のための手引き3											
	【授業外学習】	事前:「十三夜」の194-200ページを読んでおく。 事後:「十三夜」の194-200ページの解釈をまとめる。											
	【内容】	【第9週】『十三夜』(上)を読んで 感想文の執筆と復習テスト。											
	【授業外学習】	事前:「十三夜」の175-200ページを読んでおく。 事後:「十三夜」の175-200ページの解釈をまとめる。											
	【内容】	【第10週】『十三夜』(下)を読む。 理解のための手引き4											
	【授業外学習】	事前:「十三夜」の200-208ページを読んでおく。 事後:「十三夜」の200-208ページの解釈をまとめる。											
	【内容】	【第11週】『十三夜』(下)を読む。 登場人物の思いについて考える。(小レポート)											
	【授業外学習】	事前:「十三夜」の208-211ページを読んでおく。 事後:「十三夜」の208-211ページの解釈をまとめる。小レポート(続き)を書く。											
	【内容】	【第12週】『十三夜』の評価について 教材・同時代評を読む。											
	【授業外学習】	事前:同時代評を読んでおく。 事後:同時代評の解釈をまとめる。											
【内容】	【第13週】樋口一葉の生き方について 教材・一葉日記を読む。												
【授業外学習】	事前:一葉日記を読んでおく。 事後:一葉日記の解釈をまとめる。												
【内容】	【第14週】『十三夜』を読んで 振り返りと復習テスト												
【授業外学習】	事前:「十三夜」を読んでおく。 事後:配布教材を読む。												
【内容】	【第15週】まとめ 一葉文学の特色について。												
【授業外学習】	事前:配布教材を読んでおく。 事後:授業で取り上げた一葉日記を読む。												
授業方法	講義 授業の課題等に関しては、フィードバックとしてできるだけ授業時間内に解説をする。												
成績の評価方法	作家について知識を深められたかどうか、作品のストーリー・文体・文脈、テーマなどを理解できたかどうか等について、授業中の応答、課題やテストによって評価する。復習テスト2回80%、小レポートその他提出物・授業中の応答20%の比率で総合的に評価する。												
成績の評価基準	総合得点が6割以上を合格とする。 90～100点 S評価、80～89点 A評価、70～79点 B評価、60～69点 C評価、59点以下 E評価。												
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社</th> <th>価格</th> <th>ISBN/ISSN</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.</td> <td>『たけくらべ』</td> <td>樋口一葉</td> <td>集英社文庫</td> <td>352+税</td> <td>978-4-08-752044-6</td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN	1.	『たけくらべ』	樋口一葉	集英社文庫	352+税	978-4-08-752044-6
No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN								
1.	『たけくらべ』	樋口一葉	集英社文庫	352+税	978-4-08-752044-6								

④ 参考文献	
④ 備考	<ol style="list-style-type: none">1. この授業は、日本語日本文化学科2年生の(b)クラスを対象とする。2. 教科書は掲載の写真資料等も参照するので、指定の文庫本が望ましい。3. 十分な予習をした上で出席すること。4. CoursePowerやビデオ教材を併用する。
④ 関連 ホーム ページ	
④ メール アドレス	愛知 峰子 aichi2010@fsc.chubu.ac.jp
④ オフィス アワー	

[前画面へ戻る](#)